

「生ごみ分別収集実証実験」の

協力者を募集します！

三ヶ浦町内会
の皆様へ

【概要】

○町では、老朽化したクリーンセンターのごみ焼却施設やし尿処理施設などを解体し、新たに「生ごみ資源化処理施設」や資源物ストックヤードなどを整備します。
(令和7年2月竣工予定)

○施設の稼働に伴い、「生ごみ」と「燃やすごみ(生ごみを除く)」を分けて収集することから、家庭における分別、保管、出し方などの課題を把握するため、実証実験にご協力いただける方を募集します。

◆実験の詳細は裏面をご覧ください◆

Q.生ごみ資源化処理施設とは!?

家庭から出る生ごみを堆肥化し、出来た堆肥を地域に還元することで、持続可能な循環型社会の形成を目指すための施設です。

循環型社会のイメージ



Q.なぜ生ごみ資源化処理施設を整備するの!?

家庭から出る燃やすごみの約40～50%が生ごみで、現在すべて焼却処理を行っています。

生ごみは焼却しないで資源化することが出来るため、町では「ゼロ・ウェイスト」の実現に向けた取り組みとして家庭から出る生ごみを資源化することとしました。

生ごみ資源化処理施設の整備により、次の効果などが見込めます。

- ① 焼却コストの削減
- ② ごみ焼却量の削減による環境負荷の軽減 (CO2 排出量の削減)
- ③ 堆肥を地域に還元 (持続可能な循環型社会の形成)

生ごみ分別収集実証実験の概要

1. 実施時期：令和4年11月～令和5月1月(3か月間)

2. 実験内容：(1)～(4)のとおり

(1) 生ごみの分別

「燃やすごみ」から「生ごみ」を分別します。

< 生ごみとは >

- ★ 人の口に入るもの(食べられるもの)
- ★ 卵の殻、調理くずや食品くず
- ★ 貝殻や骨など



(2) 保管容器の貸与

希望者には保管容器を貸与します。
(生ごみや紙おむつ等の臭い対策用)



(3) ごみ袋の配布

「生ごみ」専用のごみ袋を配布します。

※生分解性プラスチック袋(バイオ 25%)

専用ごみ袋の中には

生ごみだけを入れてください。

燃やすごみは今までどおりの袋で出してください。

(注)収集日まで生ごみを保管していた袋等は、専用ごみ袋に入れずに材質ごとに分別して捨ててください。

(4) 収集頻度の変更

実験期間中は収集回数が変わります。

	11/14～ 12/19	12/22～ 1/26
「生ごみ」 	月曜日 週1回	月曜日 木曜日 週2回
「燃やすごみ」 (生ごみ除く) 	木曜日 週1回	木曜日 週1回



キリトリ



❖ 「生ごみ分別収集実証実験」への協力について、どちらかに○をつけてください❖

※「協力してもよい」とご回答いただいた方は住所・氏名を必ずご記入ください。

協力してもよい

協力はむずかしい

住所：

氏名：

●提出先：三ヶ浦町内会各組長 (組長は地区長へお渡しください)

●締切：令和4年10月26日(水)